

通算山行NO	No.277A(春山山行)	報告者	後藤 隆徳
年月日	第3日目 = 5月1日(無風・快晴)	二万五千円 = 立山・黒部湖・剣岳・十字峡	
山名	報告のコース = 剣山荘～二股～池の平小屋～小黒部谷～大窓雪渓～大窓～中仙人谷(仮称・白萩川)～馬場島		
今日の体力度 = 5 技術度 = 4 藪漕度 = 0 道標 = なし 展望度 = 最高			
恐怖の大窓雪渓上りだった			
コースと タイム	起床4:00 - 出発6:00 - 二股6:50 - 池の平小屋 8:25 - 小黒部谷 大窓雪渓9:00 - 大窓11:10～25 - 馬場島13:00		
標高差	上り:二股1590m～池の平小屋2045m = 約455m 小黒部谷1525m～大窓2175m = 約650m 下り:剣山荘2450m～二股1590m = 約860m 池の平小屋2045m～小黒部谷1525m = 約520m 大窓～白萩川林道終点760m = 約976m		

三日目(1日)

静かな美しい朝が明けた。小屋のテラスから眺める鹿島槍は素晴らしかった。小屋の計らいで朝食は30分早かった。この小屋は全体的に対応がとても良かった。このような小屋はまた利用したくなるのが人情だ。1989年5月4日、すぐ近くの前剣で遭難死した柳下君の事故時もここに世話になった。このテラス横から網に吊るされへりで持ち上げられる光景が未だに脳裏に焼きついている。山で絶対死んではいけないのだ…。

カチカチの剣沢を下る。2年連続で5月末・6月初旬に来ているが、やっぱり5月初旬は雪がいい。一気に二股まで滑れた。剣沢は二股付近で少し流れているだけだった。天気は無風快晴。三ノ窓雪渓の向こうにチンネが一気にせり上がる。

右股を上る。雪が多くとても歩き易い。つぼ足跡があった。何故かハエが一匹転がっていた。池の平に上ると剣全体が見渡せた。(表紙写真参照)いつみても「格好いい」の言葉以外必要のない景観である。

池の平小屋に上る。今年は小屋前の雪庇がなく、最低コルをそのまま上れ労力は少なかった。以前、北方稜線で遊んだ時、この小屋に泊まった。ビアが温いので加藤が下の池までバケツで雪を取りに行った事、ビア片手に剣を眺めながら、ドラム缶の風呂に入ったことを思い出した。そんな小屋も今は、屋根を少し出しているだけだった。

ここから大窓雪渓出合まで650mの滑降だ。出だしは急だった。とにかく怪我は怖いので慎重に行く。少し下るとU字谷が開け、超超快適なスキーとなった。誰でも「ワオ～

う」と思わず叫んでしまう。

出合に着くと何と大窓雪渓を一人上っている。意外だった。後で分かったが、昨夜池の平で泊まった名古屋の方だった。ここから恐怖の上りが待っていた。何が恐怖かと言うと、28日に降った50Cmの新雪が硬い旧雪の上に載ってグズグズで歩き難いのと、気温上昇で左右からズルズル雪崩れているからである。

とにかく速くここを抜きたいのであるが、650mの上りはそう簡単ではない。途中までシールで頑張るが、余りに上り難いのでスキーを背負ってつぼ足に変更する。と、その時我々がスキーで歩こうとしていたコースに上部から「ズズズズー」と雪崩が走る。「うわ～、怖や～」。まあ、死ぬことはないと思うが、足の一本くらい折れるであろう。危なかった。それより、本流も心配である。ったく～、季節外れの大雪はヤバイ。

そこからとにかく必死で上り、何とか大窓に乗越した。ここも、雪庇が懸念されたが、真ん中が崩れ、そこだけ雪庇が無く難なく越えられた。加藤もよく頑張り到着。女性でここはかなり厳しいかも。俯瞰する大窓雪渓は圧倒的だった。

大窓からはもう上りは無い。快適な滑降だけである。所が意外にも富山側は雲海が一面に広がっていた。は～、天気は分からない物だ。結果的には立山駅で小雨が降っていたのだ。

ここから白萩川(仮称・中仙人谷)に向かって突っ込む。実はこの呼称だが、2万5千図を見ると大窓から白萩川に至る沢の名称は無い。約標高1480mで東仙人谷と西仙人谷が出合うが、この東・西が分からない。何を、何処を基準に東・西なのか？で、中を採用して仮称・中仙人谷としたが・・・。

上部は超快適なザラメだ。スキーがよく滑った。やがて斜面は急激に白萩川に落ちていく。同時に落石がゴロゴロと多くなり、スキーはポコポコになっちゃった・・・。

名古屋氏も苦労しながらも奮闘。1480mまで降り切ると快適なU字谷が延々と続くが雲海下でガスがちょっとお邪魔虫。資料では林道に出る堰堤付近で一旦、右の小尾根を乗越とあったが、今年は寡雪？にもかかわらず、全く問題なく林道に出られた。ラッキー(笑い)。

道で大休止。ここまで来れば大丈夫。互いの健闘をたたえあう。馬場島までフキノトウを沢山採る。私の味噌汁用だ。花も沢山咲いていた。

馬場島から名古屋氏と立山駅までタクシーを飛ばす。運ちゃんは若い人の良さそうな方。メーターなら1万8千円位というが、無理やり三人で15000円でやれと脅迫？し、渋々、了承させる。(笑い)

だけどちゃんと、駐車場の車の前まで送ってくれた。いい人だ。翌日は沢渡の「さとう」に寄り、10周年のお祝いのお礼を言って帰った。